

日本クリティカルケア看護学会  
2022年度 学会活動に関する会員の満足度とニーズ調査 報告書

一般社団法人 日本クリティカルケア看護学会  
代表理事 佐々木吉子  
将来構想委員会

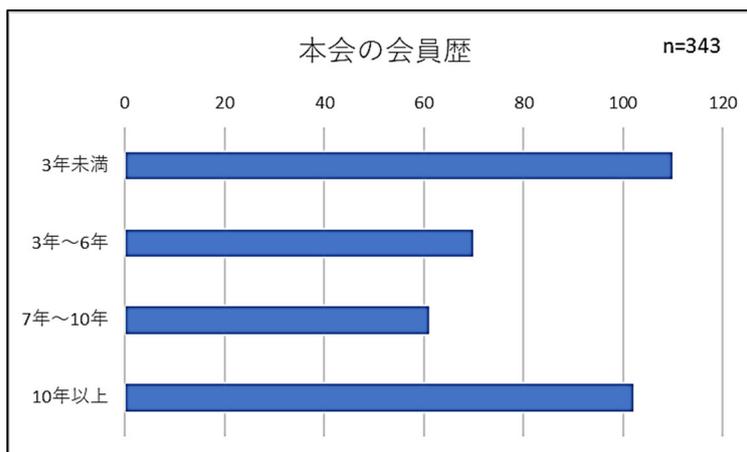
本会のさらなる発展のために会員の学会活動に関する満足度を把握の調査をおこなった。調査結果は、ニーズに即した新たな取り組みや既存事業の見直し、学会の事業計画等の検討に活用していく。

【調査方法】

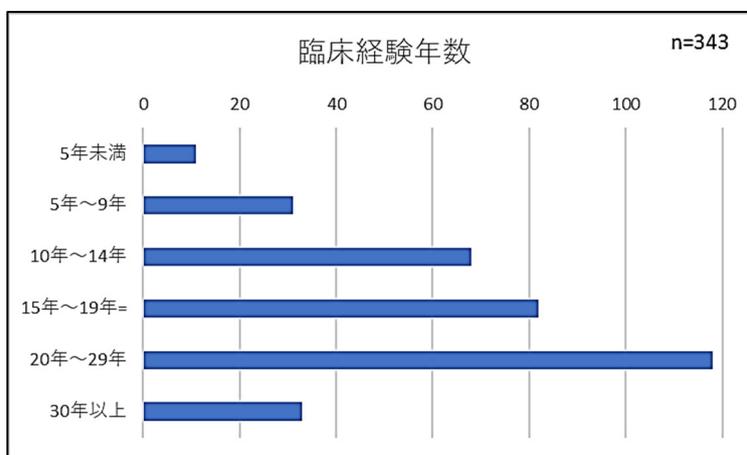
スマートフォン等で下記 URL からアンケートサイトにアクセスし回答を得た。実施期間は、2022年 8月 15日(月)～9月 7日(水)で実施した。回答は無記名とし、各回答は、単一回答と複数回答の選択肢と自由記載によって構成した。

設問 1 本会の会員歴について、ご回答ください。

調査時の会員数は、1,699人  
であり、約 20.2%の回答率であっ  
た。



設問 2 臨床経験年数について、ご回答ください。



設問 3 現在の主たる所属について、ご回答ください (n=343)。

企業は、医療関係以外が 2 件、起業が 1 件、主婦が 1 件である。

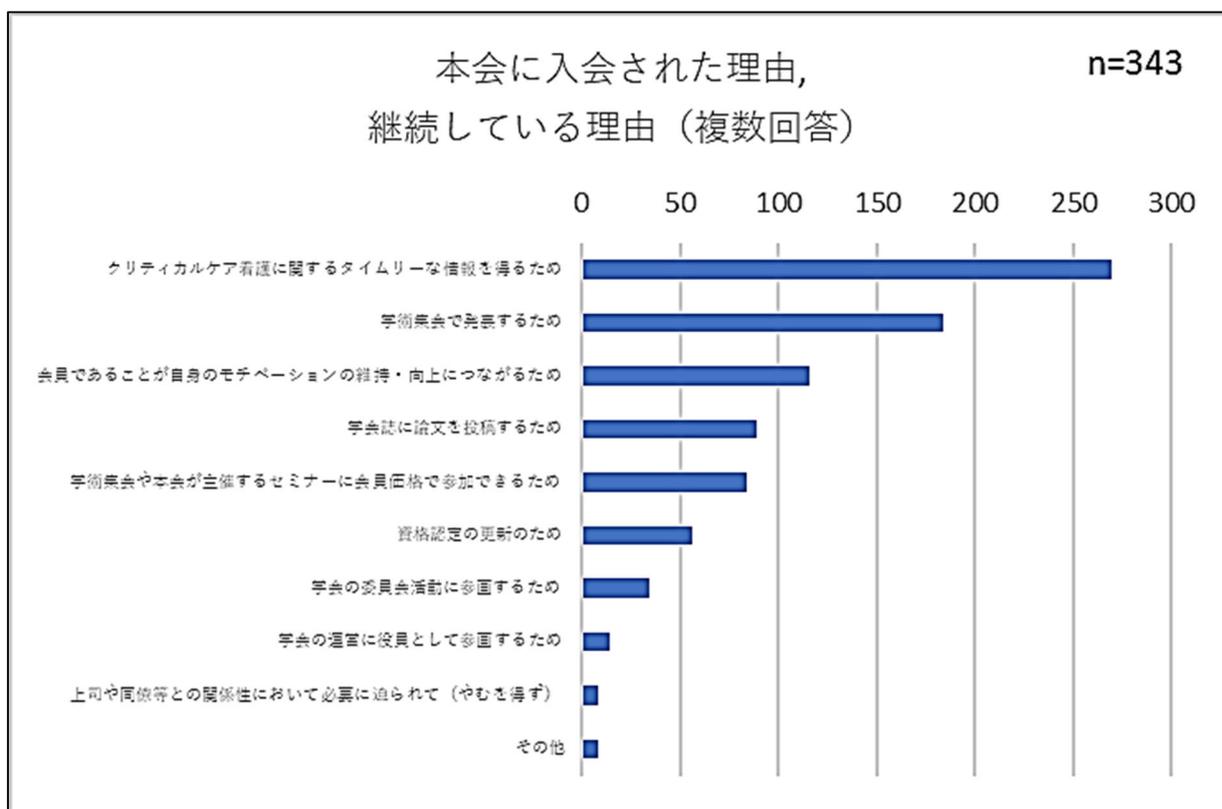
所属施設	
医療機関	246
教育機関	90
研究所	0
行政機関	1
学協会	2
企業	4

設問 4 医療機関の方は部署について、ご回答ください。

医療機関の所属と回答した 246 件の所属部署は、右記の表のようになる。クリティカル部門は、集中治療室、ハイケアユニット、救急部門等である。その他は、一般外来、透析室、血管治療室、手術室、病院所属が各 1 名、診療部所属は 2 名であった。

医療機関での所属部署	
クリティカルケア部門	196
外科系病棟	7
内科系病棟	4
混合病棟	10
教育部門	4
管理部門	22
その他	7

設問 5 本会に入会された理由や継続されている理由について、ご回答ください。(複数回答)

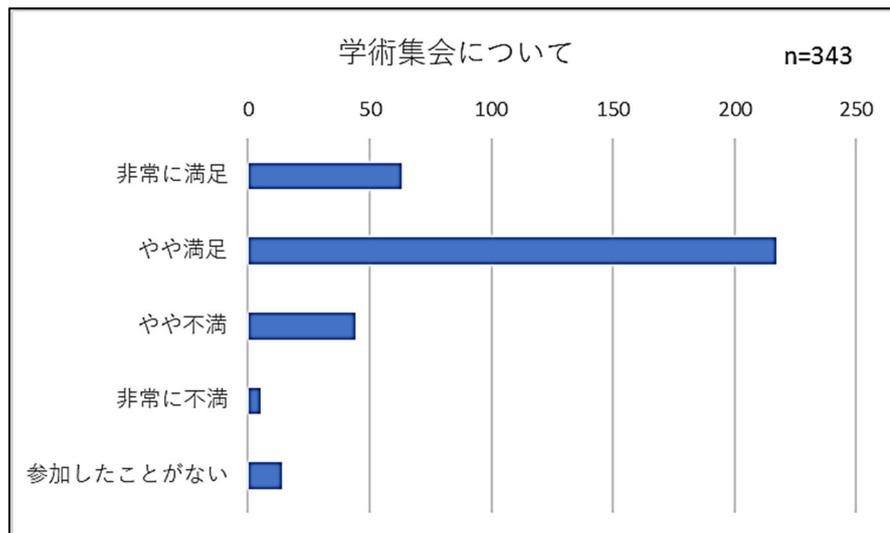


自由記載では、情報収集や人脈づくり、自己啓発、教育研究のためといった意見があった。

## 設問 6 本会の事業内容の満足度について、事業内容に対するご意見やご提案等

### 6-1 学術集会について

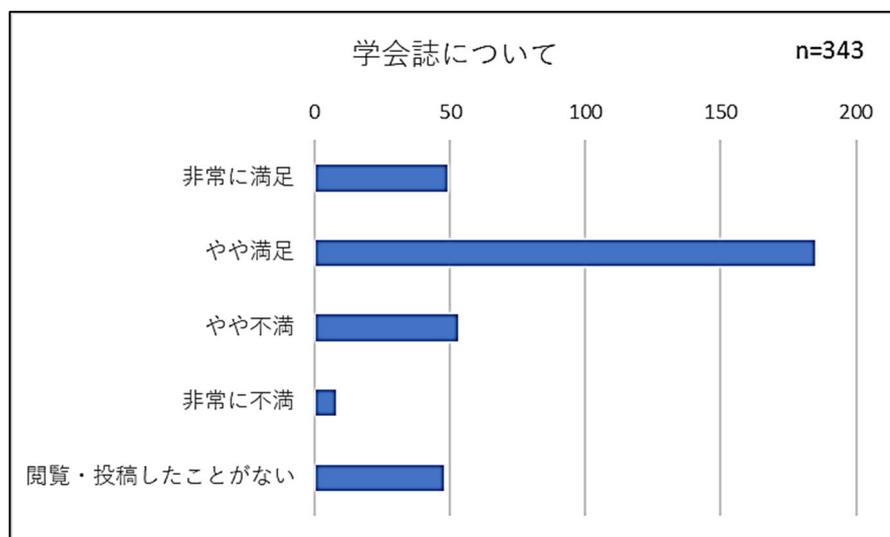
自由記載では、31 件の意見があり、学術集会開催形式に関しては、オンラインに関する高評価の意見とともに、オンラインでの視聴できないセッションや操作のしにくさがあった。学術集会のプログラム内容については、興味深い内容であると意見とともに、臨床に



即していない、他学会との違いの不足に関する意見がみられた。学術集会費に関しては、振込のオンライン化、参加費の金額等があった。また、その他に、セミナーに関する意見・要望や座長・シンポジストに関する意見があった。

### 6-2 学会誌について

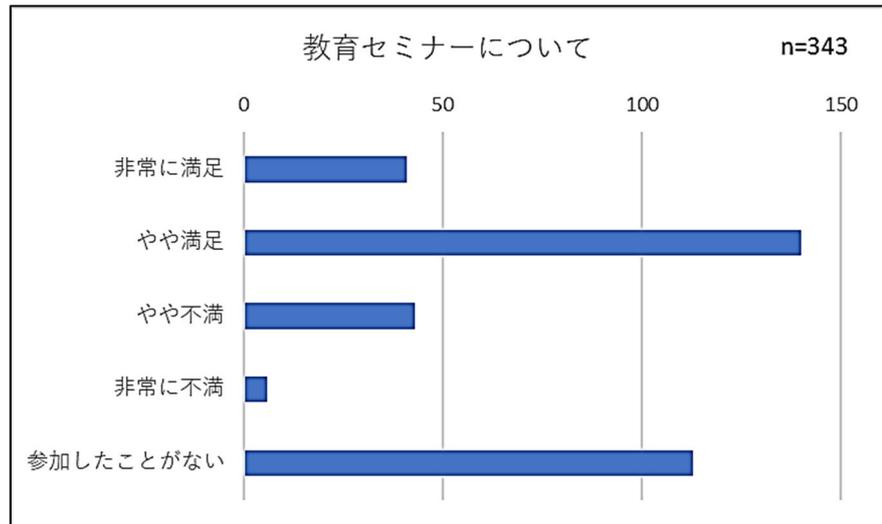
自由記載では、18 件の意見があり、デジタル化についての意見・要望として、冊子の要望とともにオンラインにより閲読が減ったという意見があった。学会誌の内容に関する意見・要望では、質の向上の意見とともに、さらなる質の向上を望む意見があった。査読



に関する意見では、査読時間の短縮、査読の質の向上、査読システムの充実などが意見としてあった。

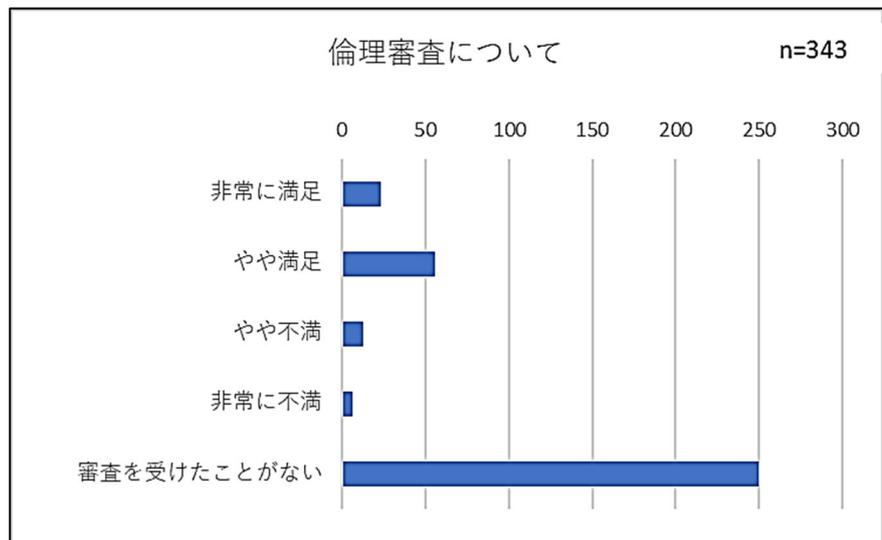
### 6-3 教育セミナーについて

自由記載では、13件の意見があり、内容の偏りや開催回数の増加を望む意見とともに、参加費が高額である、地方開催を望む意見があった。



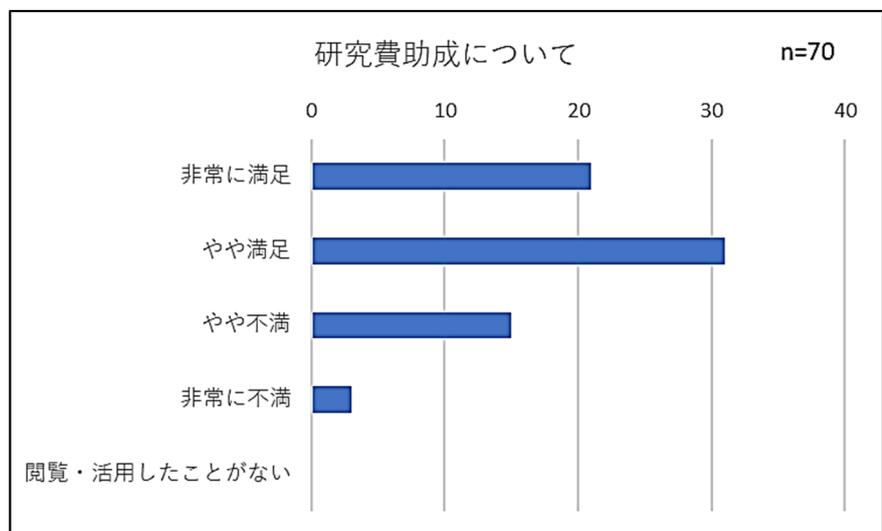
### 6-4 倫理審査および倫理に関する活動について

自由記載では、事務局の不備により時間を要したという意見があった。



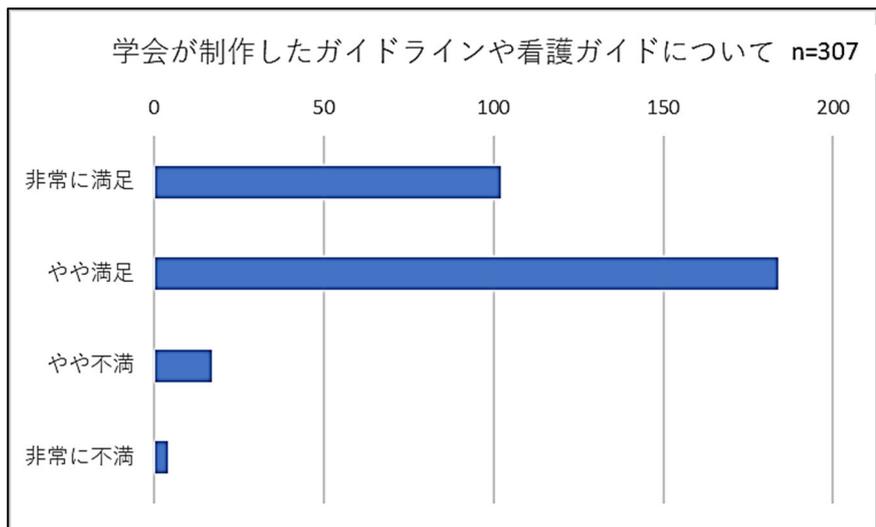
### 6-5 研究費助成について

自由記載では、5件の意見があり、応募数や審査基準の公表や随時申請を望む意見があった。他にクリティカルケア看護学会雑誌以外の掲載も認めてほしい意見もあった。



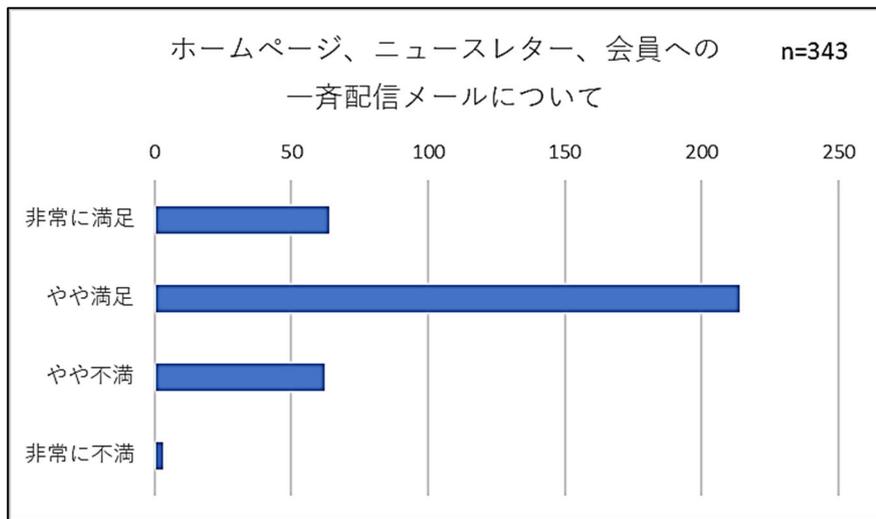
### 6-6 学会が制作したガイドラインや看護ガイドについて

自由記載では、18件の意見があり、信頼性がある指針、臨床実践に役立つ内容で臨床実践での活用ができていますという意見とともに、臨床実践での研修への活用やさらなる説明会等の啓発の要望の意見があった。



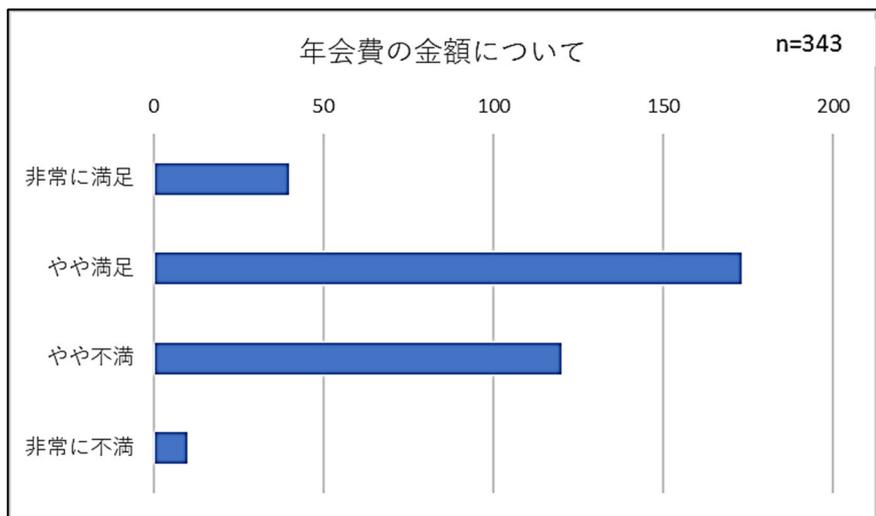
### 6-7 ホームページ、ニュースレター、会員への一斉配信メールについて

自由記載では、18件の意見があり、必要な情報が配信されていると意見とともに、電子メールでの配信の要望、最新の知見や他学会の情報発信の要望、配信回数への要望、ホームページの閲覧の操作のしにくさなどの意見があった。



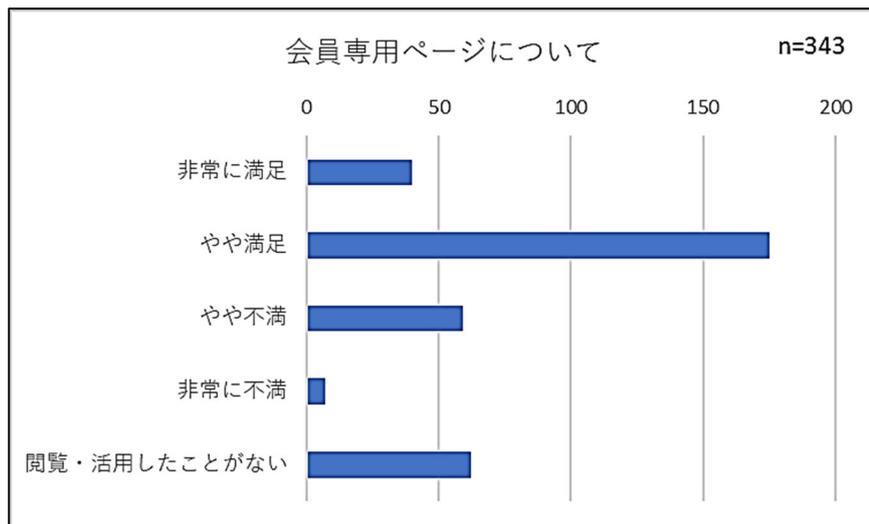
### 6-8 年会費の金額や支払い方法について

自由記載では、30件の意見があり、妥当な金額であるという意見とともに、意見の半数は、年会費が高額であった。他には、年会費振込方法の不便さ、年会費に比する会員特典の要望、年会費の適切な使途への要望などがあった。



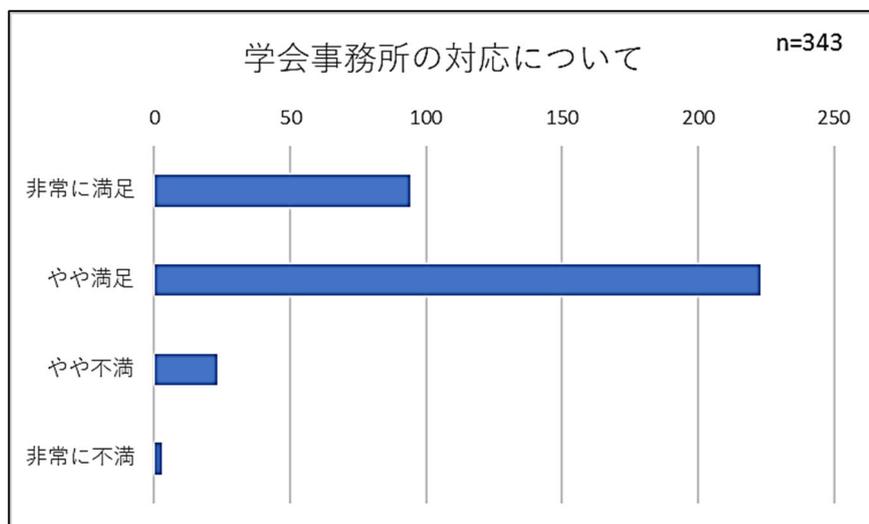
### 6-9 会員専用ページについて

自由記載では、15件の意見があり、内容充実の要望を望む声が多く、会員専用ページの利用の難しさ、情報の少ないという意見があった。

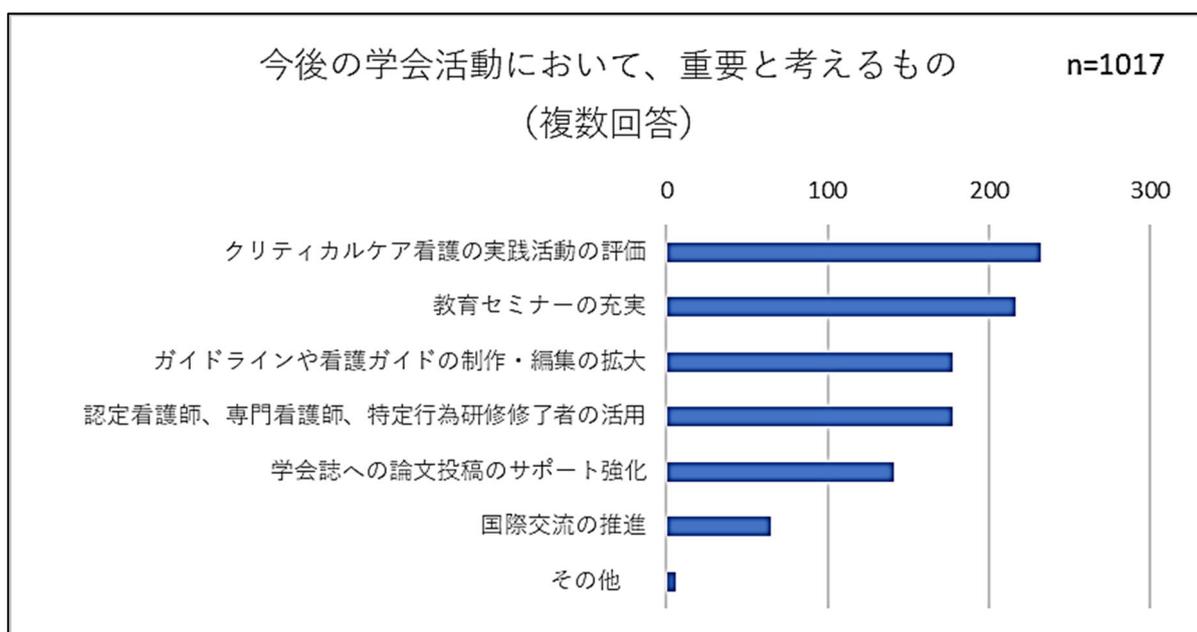


### 6-10 学会事務所の対応について

自由記載は、7件の意見があり、迅速な対応に関する感謝の声も聞かれる一方で、問い合わせへの対応の遅延などへの要望があった。



設問 7 今後の学会活動において、重要と考えるものについて、ご回答ください。（複数回答）



その他では、学会の意義やスタンスを明確にした活動・類似学会との差別化、学術団体なので、学術面でまずはリードすべき、最新の情報の配信、役員の刷新という意見があった。

設問 8 その他、ご意見やご提案等 (自由記載)

※**カッコ内数字は、調査項目番号**

34 件の記載があり、学術集会での常時オンライン開催とともに、学術集会での現地開催に関しては、会員以外も参加しやすく地方のレベルアップのためにも、都市部のみでなく地方での学会開催の要望があった(6-1)。また、オンラインによるセミナーでの参加のしやすさなど、オンラインでの学術集会やセミナー開催に関する意見があった(6-1)。一方で、また、ガイドラインに関する要望と感謝(6-6)する意見があった。

15 件と最も意見が多かったのは、学会活動への要望であり、会員番号の管理と会員への開示方法の変更要望(6-10)や急性期全般に関する幅のある活動への要望(7)、研究、教育、実践の融合が図れる学会としての継続(7)、臨床に即した学会への要望(7)、学会での研究の取り組みの要望(7)、国際学会などの検討会への人材派遣の要望、学会における特定行為研修取り組みの要望、NP へのサポートの検討、認定看護師の活動に関する学会からの明示の要望、委員会構成変更の要望、学会役割への幅広い募集への要望、名誉会員選出への要望、学会活動への謝礼の提案、看護師認定制度の進捗の確認要望、日本集中治療医学会との協働など幅広い意見があった。

年会費の入金や会員特典に関する要望では、高額な会費に値する特典や満足度の仕組みの要望(6-8)や年会費の入金方法に関する要望(6-8)、無料でセミナー開催の要望(6-3)する意見があった。